

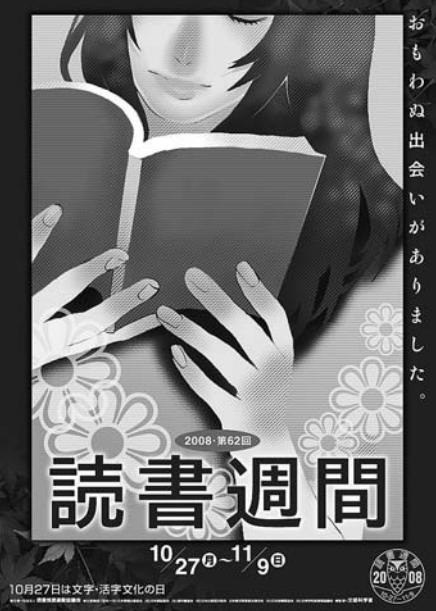
図書館だより

発行：千葉市図書館 <http://www.library.city.chiba.jp>

主な内容 [2・3面] 子ども読書まつりのご案内
[4面] レファレンスの事例紹介・傷つけられた本の悲劇

千葉市中央図書館

千葉市中央区弁天3-7-7 ☎ 043-287-3980
 みやこ図書館 白旗分館 (233-8333) (264-8566)
 花見川図書館 花見川団地分館 (250-2851) (250-5111)
 稲毛図書館 西都賀分館 (254-1845) (254-8681)
 若葉図書館 泉分館 (237-9361) (228-2982)
 緑図書館 あすみが丘分館 (293-5080) (295-0200)
 美浜図書館 土気図書室 (277-3003) (294-1666)
 移動図書館 打瀬分館 (287-3983) (272-4646)



2008・第62回 読書週間ポスター

「秋の日はつるべ落とし」といわれるよう、日に日に夕暮れが早くなり、秋の深まりを感じる季節になりました。秋といえば、食欲の秋、芸術の秋、そしてなんといっても読書の秋！今号では、「読書週間」について紹介します。

「読書週間」の始まりは戦後間もなく、まだ日本中で戦火の傷痕が残っている昭和22年まで遡ります。「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」という考えが高まり、出版社や書店、公共図書館、そしてマスコミなどが連携をとり、第1回「読書週間」が開催されました。期間は11月17日から23日までで、これは、アメリカの「チルドレンズ・ブック・ウイーク」が、11月16日から1週間であるのにならったものでした。各地で講演

会や本に関する展示会が行われたり、読書運動を紹介する番組が作られたりしました。その反響は大きく、翌年からは期間が文化の日を中心とした2週間に延長され、「読書週間」は全国的に普及していきました。

その後、秋の2週間だけではなく、年間を通して人々の読書活動を推進することを目的に、昭和34年に「読書推進運動協議会（読進協）」が設立されました。読進協は、秋の「読書週間」などを主催するほか、「敬老の日読書のすすめ」「若い人に贈る読書のすすめ」など各対象別の読書運動も展開しています。

【社団法人 読書推進運動協議会のホームページ】
<http://www.dokusyo.or.jp/>

千葉市の各図書館では、「読書週間」と、その初日にあたる10月27日の「文字活字文化の日」にちなんで、今年も「子ども読書まつり」を開催します。お子さんはもちろんのこと、大人の方にも参加いただける企画を用意しました。

詳しくは、次の2・3面をご覧ください。

もくじ「読書週間」！（10月27日から11月9日まで）

2008・第62回 読書週間標語

おもわぬ出会いがありました。



「読書週間」シンボルマークの由来

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしたといいます。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものとの考えから、「読進協」において、使用されてきました。

本との素敵な出会いをしてみませんか?



10/25(土) 中央図書館

<生涯学習センター内のイベント>

★わらべうたごあそぼう

年齢別に、ゆったりした言葉とリズムでわらべうたをうたったり、手遊びをしたりします。
0歳児とその保護者 10:00 (※)
0・1歳児とその保護者 13:00/14:40
2・3歳児とその保護者 13:50/15:30
4~6歳児とその保護者 11:30
定員 各回15組 (※のみ10組)
10/10(金)必着 往復はがきで

★探しパパ・探しママのためのわらべうたと絵本講座

これからお父さんやお母さんになる方に、わらべうたの実演や絵本の読み聞かせをします。
10:00~11:00
対象 出産を控えた夫婦
定員 先着10組 事前申込み・来館または電話で

昔話の部屋

口伝で伝承してきた昔話を、たっぷりと味わっていただきます。小学生から参加できます。
13:00/13:50/14:40/15:30
対象 小学生以上
定員 各回先着30人

★英語を楽しもう!おはなし会とゲーム

絵本を英語で読み聞かせと、簡単なゲームをします。
13:30~14:20/15:10~16:00
対象 5歳児~高校生とその保護者
定員 各回30人 10/10(金)必着 往復はがきで

アトリウムおはなし会

紙芝居や大型の絵本の読み聞かせをします。
10:00~16:00 随時

パズル遊び

ジグソーパズルのピースをうめて、大きな絵を完成させます。
10:00~16:00 随時

親子でトライ!遊びの広場

科学遊びを、親子で体験しましょう。
13:00~16:00

不用図書の無料配布

図書館で不用になった児童図書等を参加者に再利用していただきます。(千葉市在住の方 1人3冊まで)
13:00~16:00

<中央図書館内のイベント>

おはなし会

毎週土曜日に行っている年齢別のおはなし会です。絵本の読み聞かせや素話をします。
3・4歳児 11:00~11:30
5・6歳児 14:30~15:00
小学生 15:10~15:40
定員 各回先着30人

星のおはなし会

星にまつわる絵本の読み聞かせや素話をします。
11:40~12:00/13:30~13:50
定員 各回先着30人

主人公クイズ

絵本や物語の主人公を当てるクイズを行います。
13:00~16:00
対象 5歳児~小学生とその保護者
定員 先着80人

展示「なぜ?どうして?知りたいな科学の本」

科学の本を展示します。
9:30~17:00 (10/26(日)まで)

11/1(土) 緑図書館

★わらべうたごあそぼう

0・1歳児とその保護者 10:00
2・3歳児とその保護者 11:00
定員 各回10組
10/15(水)必着 往復はがきで

えほんのじかん

2・3歳児とその保護者 13:30
定員 先着20組

子ども室おはなし会(大型絵本等)

14:00/15:00

おはなし会

4歳児以上 14:30
小学生以上 15:30
定員 各回先着40人

図書館クイズ

本を読んでクイズに挑戦してみましょう。
9:00~17:15 (11/30(日)まで)

11/1(土) 若葉図書館

★わらべうたごあそぼう

0・1歳児とその保護者 10:00
2・3歳児とその保護者 11:00
定員 各回先着10組
10/3(金)から受付開始
来館または電話で

★やっこみよう図書館の仕事

10:00~11:30
対象 小学3・4年生
定員 先着5人
事前申込み・来館または電話で

親子ご楽しあおはなし会

3・4歳児とその保護者 14:00
5歳児以上とその保護者 15:00
定員 各回先着30人

消防車見学

13:30~15:00

つくっこ遊び

10:00~16:00

不用雑誌の無料配布

10:00~15:30

11/8(土) みやこ図書館

★わらべうたごあそぼう

0・1歳児とその保護者 10:00~10:30
2・3歳児とその保護者 11:00~11:30
定員 各回10組
10/8(水)必着 往復はがきで

おはなし会

3~6歳児 14:00~14:30
小学生 15:00~15:30
定員 各回先着25人

不用雑誌の無料配布

10:00~15:00

子ども読書まつり

平成20年
10/25・11/1・11/8



11/1(土) 美浜図書館

親子おはなし会

3・4歳児とその保護者 10:30~11:00
5歳児~小学生とその保護者 11:30~12:00
定員 各回先着50人

11/12(水) 打瀬分館

★大人のためのおはなし会
大人の方が楽しめる昔話を語ります。
10:00/11:00/13:00/14:00
対象 成人(乳幼児同伴可)
定員 各回50人
10/29(水)必着 往復はがきで
(複数参加可)

11/8(土) 稲毛図書館

★わらべうたごあそぼう

1歳児とその保護者 10:00~10:30
2歳児とその保護者 11:00~11:30
定員 各回10組
10/8(水)必着 往復はがきで

おはなし会

3~6歳児 14:00~14:30
小学生 15:00~15:30
定員 各回先着25人

不用雑誌の無料配布

10:00~15:00

その他にも秋のイベントを開催いたします。
ぜひお越し下さい。

11月7日(金) 10:00~12:00

郷土文学講演会

「櫻桃忌 百年を越える太宰治と川端康成とのかかわり」
対象 成人
定員 30人
詳しくは、市政だより10月15日号をご覧ください。

稻毛図書館



昨年の子ども読書まつりの様子



11月15日(土) 13:30~15:30

郷土史講座

「幕末の嬉野村騒動～村の様子から～」
対象 高校生以上
定員 30人
詳しくは、市政だより11月1日号をご覧ください。

花見川図書館

伝説「戻り鐘」について知りたい!

レフアレンス事例 (16)

「戻り鐘」は千葉笑いの奇習でも知られる千葉寺の梵鐘（ボンショウ）にまつわる話のようです。『千葉市風土記』（千葉日報社、昭和56年）には次のように書かれています。

戻り鐘

千葉寺には弘長元年十二月二十二日の銘の入った梵鐘があつたという。改鋲のため江戸に出したところ、ひとりでに「千葉寺・千葉寺」と悲しげに鳴り出したので恐ろしがられて再び千葉寺に戻されたという。そこで通称、戻り鐘といわれ有名だつたというが、文化年間以後、ゆくえ知れずになってしまったという。

この「戻り鐘」の伝説は『千葉誌』（千葉町、明治44年）や『千葉町案内』（千葉町案内発行所、明治44年）、古くは江戸時代の国文学者、高田与清の紀行文『相馬日記』などにも記されています。

さて、ではその鐘は現在どうなつたのでしょうか。『日本傳説叢書 下総の巻』（すばる書房、大正8年）等の資料には「今も破れ鐘のまま鐘楼にかかっている」との記述もありますが、前述のとおり、文化年間以後不明となつたとも、大巖寺との法論に負け持ち去られたとも言われているようです。『カルチャーチば第26号』によると、現在の鐘楼堂にかかる鐘は昭和32年に新しく铸造されたものだということです。

千葉市にはこのほかにも「君待橋の悲恋」や「羽衣伝説」など興味深い伝説が伝わっています。みんなの身近な地域にも不思議な話や民話などが伝わっているかも知れませんね。このような資料は地域・行政資料コ一でご覧いただけます。

〈水濡れ〉

水に濡れて2倍に膨れあがってしまいました。ページがくつしたり、カビが生えて本が読めなくなったりします。



〈破損〉

記事が切り抜かれてしましました。コピーもできますので切り抜きはやめてください。



〈書き込み〉

文字を書き込むのは、ノートか自分の本だけにしてください。



〈シミ・汚れ〉

こぼした物によっては文字が読めなくなります。また、水濡れと同様にページが開かなくなったりします。



家庭の蔵書保管から図書館の蔵書保管まで、あらゆる場所に最適な保管機器をご提供いたします。



● 据置書架 ●

● 移動棚「スタックリランナーシリーズ」 ●

● 自動化書庫「オートライブ」 ●

ISO14001 ISO9001 認証取得企業

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

<http://www.nipponfiling.co.jp>

本社／〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2

支店／大阪・名古屋

営業所／札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

電話受付：月～金（土・日・祝日を除く）9:00～17:00

0120-808-977

万が一、本を破損したり、汚してしまったりした場合には、修理をせずに、そのままの状態でご相談ください。本の状態を確認させていただき、破損や汚損等の状態によっては、弁償していただく場合があります。なお、貸出、返却の際には十分に注意し中身を確認しておりますが、破損等に気づかずに入出を行つてしまることがあります。破損等を見つけた場合には、お手数ではございますが、ご連絡ください。

図書館の本は市民の皆さんの共有の財産です。また、未来に残していく大切な宝でもあります。少しの気遣いで、多くの方に本を気持ちよく利用していただけます。本は大切に扱いましょう。

傷つけられた本の悲劇